

消化器内科

【スタッフ】

貫陽一郎、野坂佳愛、大草響

*令和2年3月で具嶋正樹、澤野美由紀、加来寿光が退職、同年4月より貫陽一郎、野坂佳愛、大草響が就任しました。

【概要】

消化管領域を中心に、腫瘍や炎症性腸疾患などの消化器疾患全般に関する診断・治療にあたっています。

食道がん・胃がんに対してのESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を導入しており、ガイドラインに沿った治療を行っています。また平成30年度より開始した大腸がんに対するESDも、継続して行っています。NBI（Narrow Band Imaging:狭帯域光観察）併用拡大内視鏡検査やEUS（超音波内視鏡）検査、消化管造影検査などを駆使し、消化管がん・消化管粘膜下腫瘍などの病変範囲・深達度診断を行い、治療方針を決定しています。その他、内視鏡的大腸ポリープ切除、胃瘻造設や消化管出血、異物除去などの内視鏡的処置も数多く実施しています。

潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患に関しては、近年症例が多く集まるようになり、病状に応じて免疫調整剤や白血球除去療法、抗TNF- α 抗体製剤などの分子標的治療薬も適宜併用し治療を行っています。

外科的加療の必要な消化器疾患については、当院外科と密に連携を取りながら適切な加療が円滑に行えるよう心がけています。

（なお、肝疾患に関しては肝臓専門医が不在のため、専門的な処置、診療を必要とする場合は他院の専門医と連携し診療を行っています）

【診療実績】（令和2年1月～12月）

<内視鏡検査数>

上部消化管内視鏡検査	3,030件
大腸内視鏡検査	796件
超音波内視鏡検査	7件
上部消化管内視鏡的粘膜切除術（EMR）・ポリープ切除術	1件
上部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	27件
下部消化管内視鏡的粘膜切除術（EMR）・ポリープ切除術	187件
下部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	2件
内視鏡的消化管止血術	39件
内視鏡的バルーン拡張術	5件
内視鏡的ステント挿入術	4件

内視鏡的異物除去術	10 件
胃瘻造設・交換	25 件

<入院診療疾患>

<p>・上部消化管疾患：82 例</p> <p>食道がん 5、食道静脈瘤 1、食道良性疾患 7、胃がん 22、胃・十二指腸腺腫 1、胃ポリープ 2、十二指腸がん 1、出血性胃十二指腸潰瘍 21、上部消化管出血 10、胃瘻造設 7、その他胃十二指腸良性疾患 5</p>
<p>・下部消化管疾患：279 例</p> <p>大腸がん 20、大腸ポリープ 124、腸閉塞 24、下部消化管出血（大腸憩室出血など）38、虚血性腸炎 18、結腸憩室炎 10、感染性腸炎 21、S 状結腸軸捻転 4、クローン病 6、潰瘍性大腸炎 6、その他小腸大腸良性疾患 8</p>
<p>・肝胆膵疾患：37 例</p> <p>急性肝炎 2、急性膵炎 12、急性胆嚢炎 14、急性胆管炎 6、肝胆膵悪性腫瘍 3</p>
<p>・その他：124 例</p> <p>悪性リンパ腫 1、貧血 11、肺炎 25、その他内科疾患 87</p>

【業績集】

<発表>

開催年月日	演 題 名	演 者	共同演者	学 会 名	場 所
2020.11.26	潰瘍性大腸炎に関する最近の知見とサーベイランス	貫陽一郎		下関消化器疾患セミナー	下関グランドホテル